

ハクビシンの箱わなによる捕獲手順

野生動物を捕獲するには根気が要ります。

まずは、檻が置いてあることに慣れさせることから始めます。突然、檻を設置すると警戒するので、慣れさせないと檻には入ってくれません。

箱わなの設置場所

ハクビシンが通ったと思われる獣道や足跡などの痕跡を探し効果的な仕掛け場所を見つけることで捕獲率が上がります。ハクビシンは畑の用水路や川の周辺をよく通ります。さらに同じ場所を通る習性があるため、そこにわなを仕掛けると良いでしょう。

捕獲方法

第1段階

箱わなの外、入り口付近に「寄せエサ」を置き、箱わなの中に「食わせエサ」を置く。また、万一ハクビシンが箱わなに入っても扉が閉まらないような状態にする。この状態を2～3回繰り返す。

寄せエサはトウモロコシですと、粒を多めにまくなど。

第2段階

次に、箱わなの中の「食わせエサ」を食べたことが確認できたら、この状態を2～3回繰り返す。食わせエサを食べても扉が閉まらないような状態にし、箱わなに慣れさせる。

寄せエサは、第1段階より少なめにする。

第3段階

第2段階の状態が確認できたら、扉が作動するようにする。

寄せエサは第2段階より少なめにする。

エサを食べる時間帯は、日没の薄暗くなる時から、翌日の日の出くらいまで寄せエサと食わせエサは被害にあっている作物が一番良い。
また、ジャム(いちご、ブルーベリーなど)を塗っても効果が上がる

